

東北自動車道  
大玉スマート I C 土質調査

特 記 仕 様 書

令和 8 年 6 月

東日本高速道路株式会社 東北支社

福島管理事務所

## 目 次

頁

### 第1章 総則

1－1	調査等概要	1
1－2	適用する共通仕様書	1
1－3	用語の定義	1
1－4	テクリスへの登録	1
1－5	履行期間	2
1－6	資料の貸与	2
1－7	受注者相互の協力	3
1－8	計画工程表	4
1－9	調査等打合簿の作成及び提出について	4
1－10	成果品	5
1－11	ウィークリースタンスの取組み	5
1－12	クマ対策に係る費用	5

### 第2章 業務細部に関する事項

2－1	業務の内容	7
2－2	実施調査計画	7
2－3	調査総合解析	7
2－4	地形地質	7
2－5	調査ボーリング	7
2－6	足場仮設	8
2－7	現場内運搬	9
2－8	補償費等	9
2－9	打合せ	11
2－10	交通費・宿泊費	11
2－11	成果品	11
2－12	国土地盤情報データベース検定	11

### 第3章 補足事項

3－1	遠隔立会	12
3－2	現地の立ち入りについて	12
3－3	業務の変更及び追加について	12

## 第1章 総則

### 1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 東北自動車道 大玉スマートIC土質調査

1-1-2 路線名 東北縦貫自動車道弘前線

1-1-3 履行箇所 自) 福島県安達郡大玉村大山  
至) 福島県安達郡大玉村大山

### 1-1-4 主な履行内容

調査ボーリング	70m
標準貫入試験	70回
サンプリング	10本
土質試験	1式
実施調査計画	0.62km
調査ボーリング解析	70m

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和7年7月版とする。

### 1-3 用語の定義

共通仕様書1-2「用語の定義」に下記を追加する。

(30)「出来高」とは、契約書第32条の規定に基づき確認された業務の請負代金額をいう。

### 1-4 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、「登録内容確認システム」を用いて、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- (1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内
- (2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内
- (3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、「登録内容確認システム」を用いて、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

#### 1-5 履行期間

本業務は、共通仕様書1-13「着手日等」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から10日以内に、履行期間通知書（様式第1号）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から80日間（まで）

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から290日間（まで）

※全体履行期間は余裕期間を含む日数

#### 1-6 資料の貸与

共通仕様書1-15-1及び3-2-2「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
土質地質調査報告書	大山幼稚園増築工事地質調査	契約締結の日の翌日 より7日以内	電子成果品
	大玉村直売所新築工事地質調査		
	筋向橋更新工事（地質調査）		

	二子塚更新工事		
	宮下・高久線測量調査業務委託		

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、12月29日から翌年1月3日まで、夏期休暇（3日）を除く

#### 1-7 受注者相互の協力

共通仕様書1-20「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
東北自動車道 大玉スマートIC 路線測量	未定	未定	東日本高速道路 (株)	隣接施工
保全点検業務等の 実施に関する年度 協定 道路保全点検業務	2026年04月01日～ 2027年03月31日	(株)ネクスコ・エ ンジニアリング東 北	東日本高速道路 (株)	隣接施工
	2027年04月01日～ 2028年03月31日 (予定)			
保全工事業務等の 実施に関する年度 協定 道路保全工事業務	2026年04月01日～ 2027年03月31日	(株)ネクスコ・メ ンテナンス東北	東日本高速道路 (株)	隣接施工
	2027年04月01日～ 2028年03月31日 (予定)			
保全点検業務等の 実施に関する年度 協定 施設保全点検業務	2026年04月01日～ 2027年03月31日	(株)ネクスコ・エ ンジニアリング東 北	東日本高速道路 (株)	隣接施工
	2027年04月01日～ 2028年03月31日 (予定)			
保全点検業務等の 実施に関する年度 協定 施設保全工事業務	2026年04月01日～ 2027年03月31日	(株)ネクスコ・エ ンジニアリング 東北	東日本高速道路 (株)	隣接施工
	2027年04月01日～ 2028年03月31日 (予定)			

## 1-8 計画工程表

### 1-8-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1 「作業計画書の提出」(2) に示す作業計画書中の計画工程表(様式第2号)の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-6 「資料の貸与」に示す資料の貸与時期及び共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

種別	項目	備考
土質地質詳細調査	調査ボーリング	
	標準貫入試験	
	土質試験	
	実施調査計画	
	調査総合解析	
	国土地盤情報データベース検定	
	報告書作成	

### 1-8-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1-4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-14-3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いを受注者と監督員との協議の上決定するものとする。

### 1-8-3 計画工程表に基づく年度出来高予定額

受注者は、各年度の出来高予定額を計画し年度出来高計画書(様式第3号)を監督員に提出するものとする。また、調査等請負契約の変更が行われた場合、年度出来高修正計画書(様式 3-1 号)を監督員に提出するものとする。

## 1-9 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内(休日等を除く)に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内(休日等を除く)に受注者へ返送するものとする。

### 1-10 成果品

共通仕様書 1-46-1「成果品」によらず下記の通りとする。

- (1) 受注者は、業務完了届提出の概ね30日前までに、成果品の原稿をとりまとめた上で調査等打合せ簿にて監督員へ報告するものとする。
- (2) 成果品は、設計図書及び監督員の指示に従って作成し、提出しなければならない。
- (3) 報告書等の成果品の作成にあたっては、各章各節によるほか、将来の安全や維持管理の観点から、道路の計画・設計・施工・維持管理など（当該調査等以降に実施される業務）に配慮すべき事項について整理し、とりまとめるものとする。なお、これに要する費用については、関連項目に含むものとする。

### 1-11 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受発注者間における仕事の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行することにより、業務環境等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取組みであり、本業務において積極的に取組むこととする。

取組み内容は、契約締結後の打合せにおいて監督員と受注者との協議の上実施する取組み事項を定め、調査等打合簿を作成し相互に確認するものとする。

あらかじめ定めた取組み事項を実施できない事象が生じた場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議の上定めるものとする。

### 1-12 クマ対策に係る費用

#### 1-12-1 定義

クマ対策に係る費用とは、現場作業においてクマに襲われる事故を防止するために要した費用をいう。

#### 1-12-2 対象品目

クマ対策の対象品目は、下表に示すものとし、記載されたもの以外については、事前に受注者と監督員の間で協議するものとする。

品 目
熊撃退スプレー、注意喚起看板、熊鈴、ラジオ、ホイッスル、ホーン、鐘、鳥獣害防除機器、大音量スピーカー、低周波音スピーカー、サイレン、火薬銃、ロケット花火、獣よけ線香、獣よけシート、忌避剤、赤外線カメラ、電気柵、監視カメラ、箱罠

ただし、上記の継続使用にあたり必要となる電源に要する消耗品（電気料金、乾電池、発動発電機の燃料等）は対象外とする。

#### 1－12－3 クマ対策実施報告書の提出

受注者は、クマ対策に係る費用を請求する場合は、クマ対策実施報告書を作成し、監督員へ提出するものとする。

クマ対策実施報告書に記載する内容は、以下の事項とする。

①クマ対策毎の実施数量及び実施期間

②実施状況が確認できる資料

③支払実績が確認できる資料

- 熊撃退スプレー等の消耗品は、上記①～③の確認をもって使用前の購入品を費用計上できるものとする。



## 第2章 業務細部に関する事項

### 2-1 業務の内容

本業務は（仮称）大玉スマートインターチェンジ予定地における道路設計に先立って実施する業務であり、各地点の地質構成と各地層の性状を明らかにするとともに、土質地質の基本情報を調査・解析し取りまとめることを目的に実施するものである。

### 2-2 実施調査計画

共有仕様書 3-4-2（1）「実施調査計画」に示す区分等は、次のとおりとする。

内訳書の項目	調査区分	備考
実施調査計画（A）	第一次詳細調査	

実施調査計画（A）は共通仕様書 3-4-2（1）によるものとする。

### 2-3 調査総合解析

共通仕様書 3-4-3（2）「調査総合解析」に示す区分等は、次のとおりとする。

内訳書の項目	調査区分	備考
調査総合解析（A）	第一次詳細調査	

調査総合解析（A）は共通仕様書 3-4-3（2）によるものとする。

### 2-4 地形地質

#### （1）地形地質踏査の地形条件

1）地形地質踏査の地形条件は次のとおりとする。

平地・丘陵地：0.62km

### 2-5 調査ボーリング

#### 2-5-1 調査ボーリング箇所

調査ボーリングは参考図に示す箇所で行うものとするが、地形地質踏査結果により調査実施位置を精査しボーリング箇所の見直しが必要であると判断した場合は監督員にこれを報告するものとし、その後の取扱いについては監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

#### 2-5-2 調査ボーリング区分

調査ボーリング区分は、下表のとおりとする。

種別・規格		単位	数量	コア種別	せん孔深度	せん孔方向
φ86mm	粘性土・シルト	m	29	ハコア	5.0m以下	鉛直下方
φ66mm	礫混じり土砂	m	41	ハコア	5.0m以下	鉛直下方

### 2-5-3 調査孔閉塞

調査ボーリング終了後、次に示す箇所においてはボーリング孔を粘土等で閉塞するものとする。

ボーリング番号
B 1-1、B 1-2、B 1-3、B 1-4、B 1-5、B 1-6、B 1-7、B 1-8、B 1-9、 B 1-10

### 2-5-4 給水

調査ボーリングにおける掘削は有水ボーリングで行うため、給水（車両給水）をしながら行うものとする。使用する水については受注者が準備するものとする。

なお、これに要する費用については、関連する単価に含まれるものとし別途支払いは行わないものとする。

### 2-5-5 水田等での油対策

水田等で調査ボーリングを行う際にはボーリング機械の油が拡散しないよう十分な養生を行うものとする。

### 2-5-6 調査ボーリングの打ち止め位置

調査ボーリングの打ち止め位置は、監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

## 2-6 足場仮設

### (1) 足場仮設の区分

足場仮設の区分は次のとおりとする。

種別・規格	箇所数	対象ボーリング番号	備考
平坦足場 高さ0.3m以下	10	B 1-1、B 1-2、B 1-3、 B 1-4、B 1-5、B 1-6、 B 1-7、B 1-8、B 1-9、 B 1-10	

## 2-7 現場内運搬

### (1) 現場内小運搬

現場内小運搬の種別及び数量は、次のとおりとする。

内訳書の項目	種別	箇所数	対象ボーリング番号	備考
現場内小運搬	直接搬入	7	B 1-1、B 1-4、 B 1-5、B 1-6、 B 1-7、B 1-8、 B 1-10	
	クローラ	3	B 1-2、B 1-3、 B 1-9	

## 2-8 補償費等

### 2-8-1 支払作業員の選任

受注者は自己の職員のうちから補償費等支払業務を実施する作業員（以下「支払作業員」という）を選任し、共通仕様書 1-14-1 「作業計画書の提出」作業計画書に明示するものとする。

### 2-8-2 補償費支払調書の作成

管理技術者及び支払作業員は、支払対象者及び土地の状況を正確に把握するために事前調査を実施の上、補償費等支払調書（様式第4号）を作成し、監督員に提出し確認を得るものとする。

### 2-8-3 補償費等の単価

内訳書の補償費等の単価は次のとおりとする。なお、単価には土地使用料及び立会謝金を含んでいる。受注者は補償費等を支払対象者に支払う場合は、各単価で得られた額に対し課税区分により消費税及び地方消費税相当額を加算して支払うものとする。

また、調査実施に伴う踏荒し補償費、立木伐採補償費及びこれらに伴う立会謝金を土地所有者に支払う事態が発生した場合の取扱いについては監督員と受注者とで協議の上決定するものとする。

項目	単位	単価（円）	備考
補償費 機械ボーリング 田	地点	18,100円	

課税区分

種別	課税	非課税
土地使用料	○ (使用期間 1 か月未満の場合)	○ (使用期間が 1 か月以上の場合)
立会謝金	○	—
踏荒し補償費	—	○
立木伐採補償費	—	○

#### 2-8-4 土地使用承諾書等

受注者は土質地質調査に伴う私有地等の使用について、支払対象者の内諾を得たときにはただちに土地使用承諾書（様式は別途通知）及び補償費等請求書（様式第 5-1）に当該支払対象者の署名及び押印を求めなければならない。また、支払対象者に対して補償費等を支払う際には補償費等領収書（様式第 5-2 号）に当該支払対象者の署名及び押印を求めるものとする。

#### 2-8-5 現地立会

- (1) 受注者は、地元関係者等の現地立会を求める場合は、立会を求める目的、立会者の氏名、住所及び立場等を記載した立会承諾願（様式第 6 号）をあらかじめ監督員に提出し、承諾を得るものとする。
- (2) 受注者は支払対象者の現地立会を受けた場合は、立会終了後に立会証明書（様式第 7 号）に当該支払対象者の署名及び押印を求めるものとする。

#### 2-8-6 補償費等支払明細書の作成

受注者は補償費等支払業務完了後、補償費等支払明細書（様式第 8 号）を作成し監督員へ提出するものとする。

#### 2-8-7 補償費等の精算

当初契約時の補償費等に関する内訳数量は概算数量であり、最終契約変更時に前項に示す補償費支払明細書の数量に応じて精算するものとする。

#### 2-8-8 補償費等支払業務の打ち切り

受注者は補償費等支払業務について、支払対象者の不在、不明又は金銭の受け取り拒否等の理由により支払業務の続行が不可能となった場合は、速やかに監督員報告をし、その後の取扱いについては監督員と受注者が協議の上決定するものとする。

協議の結果支払業務を打ち切ることとしたものについては、補償費等未払調書（様式第 9 号）を作成し、監督員に提出するものとする。

## 2-9 打合せ

打合せ回数は、中間打合せ、業務内容確認検査及び完了検査を含め5回とする。なお、初回打合せの費用は実施調査計画に含むものとし、打合せの検測数量は1式とする。監督員が打合せの回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いには監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社 福島管理事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

## 2-10 交通費・宿泊費

交通費・宿泊費には土質調査の現場作業に従事する労務員すべての交通費・宿泊費を含むものとし、現場作業の数量に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費の増減に伴う費用については別途監督員と協議するものとする。また、Web会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・宿泊費についての取扱いには監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

## 2-11 成果品

本業務における成果品は、共通仕様書3-3-4「土質地質第一次詳細調査」に下記を追加するものとする。

⑨掘削区分縦断図 1/1, 000 1部

⑩掘削区分横断図 1/200 1部

報告書の表紙は、黒色、金文字製本とする。

## 2-12 国土地盤情報データベース検定

共通仕様書3-19「国土地盤情報データベース検定」に示す国土地盤情報データベース検定は、調査ボーリング1本当当たりの検定費用を2,000円（ボーリング責任者が地質調査技士の資格を有する場合に限る。）とする。なお、調査ボーリングの数量は10本とし、ボーリング本数の増減及び資格区分の相違に伴う請負代金額の変更は、監督員と受注者との協議し定めるものとする。

また、共通仕様書3-19「国土地盤情報データベース検定」に示す、登録するボーリングデータの公開区分を下表に示す。

ボーリング名	公開区分	備考
B1-1、B1-2、 B1-3、B1-4、 B1-5、B1-6、 B1-7、B1-8、 B1-9、B1-10	非公開	

## 第3章 補足事項

### 3-1 遠隔立会

遠隔立会とは、遠隔立会実施要領（令和5年10月 東日本高速道路株式会社）に基づき、共通仕様書1-23「立会い及び検査」に定める検査及び立会いについて、デジタル通信技術を活用し遠隔地からの確認、検査及び立会いの実施により、受注者及び発注者の調査等管理業務の効率化による生産性向上を図るものである。

遠隔立会の実施有無、実施項目、費用等については、調査着手前に監督員と協議し定めるものとする。

### 3-2 現地の立ち入りについて

現地の立ち入りの際は、事前に当社と十分な打合せを行わなければならない。なお、調査箇所における立木等の伐採はできる限り行わないように配慮し、伐採が必要な場合は事前に監督員と協議し定めるものとする。

### 3-3 業務の変更及び追加について

下記に示す事項について、関連する事項の業務内容を変更及び追加する場合があるため、受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。この場合の費用については、別途監督員と受注者とで協議し定めるものとする。

- (1) 関連事業との調整による数量の変更及び業務内容の追加
- (2) 現地作業における立木等の伐採等の追加
- (3) 調査ボーリング状況による各種室内試験頻度等の変更及び追加

様式第 1 号

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 東北支社  
支社長 殿

住所  
会社名  
代表者

## 履行期間通知書

(調査等名) 東北自動車道 大玉スマート I C 土質調査

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2-1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2-2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3-1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3-2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3-3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3-2. 受注者が設定した業務の終期)

東北自動車道 大玉スマートＩＣ土質調査 工程表（案）

様式第2号

1土質調査業務

業 務 日 程	計画準備	〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			備 考
		10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
1. 調査計画																																
2. 既往資料（貸与資料）の確認・整理																																
3. 調査業務																																
準備及び跡片付け																																
地形地質調査等																																
調査ボーリング																																
標準貫入試験																																
国土基盤情報データベース																																
4. 技術業務																																
5. 施工への送り事項																																
6. 照 査																																
7. 報告書作成																																
8. 監督員による成果品確認																																
9. 電子成果品作成																																
10. 打合せ																																
11. 業務検査・完了検査																																

2 貸与資料

項 目 日 程	貸与の有無	貸与時期	〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			備 考
			10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
3. 土質調査報告書																														
大山幼稚園増築工事地質調査	有・無	契約締結から30日間以内																												
大玉村児童所新築工事地質調査	有・無	契約締結から30日間以内																												
防衛機庫新工事	有・無	契約締結から30日間以内																												
二子塚更新工事	有・無	契約締結から30日間以内																												
宮下・高久線測量調査業務委託	有・無	契約締結から30日間以内																												

3 関連業務

項 目	日 程	実施の有無	実施時期	実施会社名	〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			備 考
					10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
1. 地形地質																																
1. 東北自動車道 大玉スマートIC路線測量		有・無	〇年〇月～〇年〇月																													

4 関係機関協議

項 目	実施の有無	実施時期	対応者	〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			凡 例
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30				
①交差管理者協議																																		
道路	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																															
河川	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																															
用水路	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																															
排水路	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																															
水道	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																															
②警察協議	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																															
③地元協議	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																															
④その他懸案事項協議	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																															

5 その他の懸案事項

項 目	実施の有無	実施時期	対応者	〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			凡 例
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30				
①〇〇に関する技術的検討	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	受注者																															
②〇〇に関する技術的判断	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																															

6 協議内容、結果等

協議内容経緯等	〇月〇日 ①協議場所、出席者	〇月〇日 ①協議場所、出席者	〇月〇日 ①協議場所、出席者	〇月〇日 ①協議場所、出席者	〇月〇日 ①協議場所、出席者	〇月〇日 ①協議場所、出席者
	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果

※作成上のポイント(記載内容は作成例であるため、共通仕様書及び特記仕様書の記載を確認の上作成すること)  
① 適切な工程管理(履行期間の確保)を図ることを目的とする。  
② 関連する調査業務や設計業務ならびに関係機関協議による資料入手や条件提示等の遅れが履行期間を圧迫することがないよう、資料入手・条件提示・関係協議の期限を明確化する。  
③ 協議時期と内容(結果)を工程表に明示することにより、打合せ時期・内容に工程上の遅れがないよう確認する。  
④ 原成の時期と内容(結果)を工程表に明示することにより、作業の進捗状況に合致した照査作業が実施されていると確認する。  
⑤ 本工程表は作業計画書に添付するとともに、発注者と受注者双方で共有し、適切な履行期間を確保することで設計ミスの防止、品質の確保を図る。  
⑥ なお、本書式は固定のものではない。上記趣旨を理解したうえで、各業務単位で工夫・改良を加えて利用することを基本とする。

※作成時の留意事項  
① 関係機関協議については該当事項をその都度記入のこと  
② 協議件数による遅延の場合工程上のクリティカルを明示すること。  
③ 工程計画に大幅な変更が生じた場合、協議時に発注者に提示し確認を行うこと。



様式第 3 号

令和    年    月    日

監督員

\_\_\_\_\_ 殿

受注者

監理技術者 \_\_\_\_\_ 印

年度出来高計画書

(調査等名) 東北自動車道 大玉スマート I C 土質調査

標記調査等の年度出来高計画書を下記のとおり作成しましたので、提出いたします。

記

年度出来高予定額

年度区分	年度出来高予定額	累計出来高予定額
令和    年度		
令和    年度		
計		

以 上

様式第 3－1 号

令和      年      月      日

監督員

\_\_\_\_\_ 殿

受注者

監理技術者 \_\_\_\_\_ 印

年度出来高修正計画書

(調査等名)   東北自動車道   大玉スマート I C 土質調査

標記調査等の年度出来高修正計画書を下記のとおり作成しましたので、提出いたします。

記

年度出来高予定額

年度区分	修正前出来高予定額	契約変更に基づき 修正された出来高予定額
令和      年度		
令和      年度		
計		

以   上

補償費等支払調書

監督員	主任補助監督員	補助監督員	補助監督員(施工管理員)	管理技術者

東北自動車道 大玉スマートIC土質調査  
(受注者名)

(作業期間)

No.

整理番号	支払対象者名	名称	踏荒し補償費			立木伐採補償費			土地使用料					左記に伴う立会謝金			合計金額 (円)	備考
		細目			金額小計 (円)			金額小計 (円)	宅地	田	畑	山林	金額小計 (円)	半日	全日	金額小計 (円)		
		単価																
1		数量																
		金額																
2		数量																
		金額																
3		数量																
		金額																
4		数量																
		金額																
5		数量																
		金額																
6		数量																
		金額																
7		数量																
		金額																
8		数量																
		金額																
9		数量																
		金額																
10		数量																
		金額																
合計		数量																
		金額																

※消費税及び地方消費税相当額の課税対象となる補償費については、その相当額を含めた額を単価として記入する。

補償費等請求書

一金 〇〇〇 円也

ただし、東日本高速道路㈱起業の東北自動車道 大玉スマートIC土質調査に伴う補償費等として、上記金額を請求します。

令和 年 月 日

住所

氏名

印

内 訳

工種・名称・細目	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要
合 計					

補償費等領収書

一金 〇〇〇 円也

ただし、東日本高速道路㈱起業の東北自動車道 大玉スマートIC土質調査に伴う補償費等として、上記金額を領収しました。

令和 年 月 日

(受注者名) 殿

住所

氏名

印

(規格はA4版とする)

様式第6号

監督員	主任補助監督員	補助監督員	補助監督員(施工管理員)	

令和    年    月    日

監督員    ○○    ○○    殿

受注者

管理技術者

印

立会承諾願

調査等名    東北自動車道    大玉スマートIC土質調査

標記調査等の実施にあたり、次のとおり現地立会の必要があるので、ご承諾願います。

立会日時	立会場所	立会者名	立会者住所	立会目的	備考

(規格はA4版とする)

立会証明書

私は、東日本高速道路(株)起業の東北自動車道 大玉スマートIC土質調査に伴う現地立会に、  
次のとおり出席したことを証明します。

令和 年 月 日

(受注者名) 殿

(立会者)

住所  
氏名 印

(立会内容)

日時 令和 年 月 日 時  
場所  
目的

(規格はA4版とする)

補償費等支払明細書

監督員	主任補助監督員	補助監督員	補助監督員(施工管理員)		管理技術者

東北自動車道 大玉スマートIC土質調査  
(受注者名)

(作業期間)

No.

整理番号	支払対象者名	名称	踏荒し補償費			立木伐採補償費			土地使用料					左記に伴う立会謝金			合計金額 (円)	備考 (完了日)	
		細目			金額小計 (円)				金額小計 (円)	宅地	田	畑	山林	金額小計 (円)	半日	全日			金額小計 (円)
		単価																	
1		数量																	
		金額																	
2		数量																	
		金額																	
3		数量																	
		金額																	
4		数量																	
		金額																	
5		数量																	
		金額																	
6		数量																	
		金額																	
7		数量																	
		金額																	
8		数量																	
		金額																	
9		数量																	
		金額																	
10		数量																	
		金額																	
合計		数量																	
		金額																	

※消費税及び地方消費税相当額の課税対象となる補償費については、その相当額を含めた額を単価として記入する。

補償費等未払調書

監督員	主任補助監督員	補助監督員	補助監督員(施工管理員)		管理技術者

東北自動車道 大玉スマートIC土質調査  
(受注者名)

(作業期間)

No.

整理番号	支払対象者名	名称	踏荒し補償費			立木伐採補償費			土地使用料					左記に伴う立会謝金			合計金額 (円)	備考 (理由等)	
		細目			金額小計 (円)				金額小計 (円)	宅地	田	畑	山林	金額小計 (円)	半日	全日			金額小計 (円)
		単価																	
1		数量																	
		金額																	
2		数量																	
		金額																	
3		数量																	
		金額																	
4		数量																	
		金額																	
5		数量																	
		金額																	
6		数量																	
		金額																	
7		数量																	
		金額																	
8		数量																	
		金額																	
9		数量																	
		金額																	
10		数量																	
		金額																	
合計		数量																	
		金額																	

※消費税及び地方消費税相当額の課税対象となる補償費については、その相当額を含めた額を単価として記入する。